



広報 みまた

発行・編集 北諸県郡三股町職員課 ☎52-1111 発行 9月20日 №205

町民憲章 (昭和39年1月4日制定)

わたくしどもは、歴史に輝き山河うるわしい三股に生を受け、先人の協和と忍耐による郷土建設の偉業を継ぎ、郷土愛と開拓精神をもって、ここに明るく豊かな、明日の町づくりのためにこの憲章を定めます。

- 1 常に新しい希望をもって郷土の開発につとめましょう。
- 1 教育を尊び青少年を健やかに育てましょう。
- 1 環境を清潔にし健康の増進につとめましょう。
- 1 生活を工夫しよりよい風習をつくりましょう。
- 1 力をあわせねばり強く住みよい町を築きましょう。

三股町の花 サツキ・鳥 ホオジロ・木 イチョウ



スポーツと読書の秋

9月から10月にかけて、保育所、幼稚園、小中学校など各地で運動会が行われます。『秋空の下、スポーツで汗を流したいものです。』

また秋は、読書の季節でもあります。ときには、テレビを離れて一冊手にしてみてもいいですか。

61 / 9月号

長い老後をどう生きるか

人生80年時代をむかえて

長い老後をどう生きるか——人生八十年、時代をむかえて、わたし一人ひとり真剣に取り組まなければならない問題です。日本人の平均寿命は大幅に延び、現在六十五歳の人の平均余命（あと平均して何年の余命があるか）は男性で約十六年、女性で十九年です。いまや「余生」というような人生五十年時代につくられた考え方や生き方は、大きな見直しを迫られています。人生八十年時代の豊かな老後生活とは？ 以下三浦文夫日本社会事業大学教授のお話を紹介します。

健康は自立自助の基本

人間であればだしも、死ぬまで自立自助の精神で、つまり他人のお世話にならずに過ごしたいというのが一つの目標であり、願いと自立を確保するためには、まず健康であることが必要です。健康づくりは他人に頼るべきものではありません。自分自身の努力の成果として現われてくるもので、その意味でも健康は自立自助の基本といえます。

男の自立はまず家事から

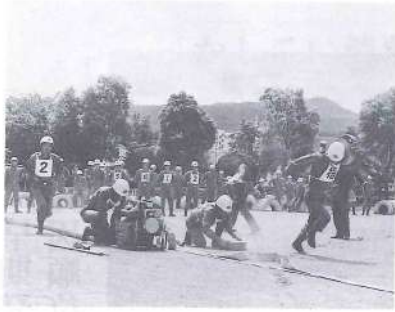
男の自立——社会的には職業人間として自立し、経済的にも家族を抱えて人並の生活を維持している人が、この日常生活の面では奥さんにすっかり依存している場合が少なくありません。家事や近隣社会の付き合いはことごとく、女房任せで、自分は「仕事人間」を決めこんでいるのです。これでは一人の人間として自立しているとは言えません。生活者としての存在感が希薄なのです。



通常点検を受ける団員

訓練の成果を競う 消防操法訓練大会

三股町消防団（中村修 一団長以下百五十名）では、八月五日三股小グラウンドで消防操法訓練大会を開きました。消防団は、团长統率のもとに一糸乱れぬ規律と組織力をもって、火災、水害を予防し、住民の生命と財産を災厄から守るため、日夜を問わず活躍しております。この操法訓練は、このような災害から郷土を守るため、団員の強固なる消防精神を養うとともに、規律正しい操法技術の向上を図る



ものです。大会には、本部（ポンプ自動車部）と各部の七チーム（小型ポンプ部）が参加して、日ごろの訓練の成果を競い合いました。開会行事に引き続き、まず、団員の服装、規律、動作などの通常点検が行われました。その後、操法訓練に入り指揮者の号令に合わせて、きびきびとした動きで、機械操作や所要時間、ホースの延長、収納など一連の動作に、観衆のかっさいをあげました。尚、審査は減点法で行われ、成績は次のとおりでした。

- ◎ 小型ポンプ部
 - 一位 第二部
 - 二位 第七部
 - 三位 第一部

行政が

肩代わりできない面

定年などで第一線の職業生活から退いたにしても、それは決して社会そのものから引退したわけではありません。これまでに培ってきた豊かな知識と経験を、広く社会のために役立てていただきたいのです。

いま、コミュニティ（共同社会）の復権が叫ばれています。行政サービスがより充実し、いっそうキメ細かな施策が展開されるようになって、行政が肩代わりできない面があります。人間のなつなかりによる連帯感の共有、情緒的な心の安定、孤独をいやしてくれる仲間意識、生きる気持ちの張り……などで、これらはすべてコミュニティの活性化によってもたらされるものです。

共同生活を通して リーダーの役目を学ぶ



町子ども会育成連絡協議会（会長、檀上隆）では、去る七月二十五日、二十六日の二日間、宮村小で子ども会リーダー研修会を開きました。

この研修会は、野外での共同生活を通じてリーダーとして、活動の運営方法や知識を深めることが目的で、町内三十五の子ども会より約八十名のリーダーが参加しました。

都城支部大会 九月七日

町大会の一、二位の二部と七部、それに自動車ポンプ部の部で本部が九月七日、川東の沖水橋下河川敷で開かれる都城支部大会に本町代表として出場します。町民の皆さんのご声援をよろしくお願いします。



テントの張り方を学ぶ

昼間の研修会では、子ども会活動についての話しを聞いたり、テントの張り方や野外炊事、歌、ゲームなど、リーダーの果す役目について実技を通じて学びました。一方、夜はキャンドルサービスを開いて、歌やゲームを楽しみ各地区のリーダーと友情を深めました。

この研修会で学んだことを、今後の活動の中で生かして、子ども会がますます充実するよう期待いたします。

町子ども会リーダー研修会



(談)

コミュニティづくりを担う

コミュニティづくりには、その地域に長く住み、しかも十分な余暇があり、豊かな社会的経験をもつ人が適しています。これらの条件を最もよく満たしているのが、ほかならぬお年寄りの皆さんです。大いに地域社会活動に取り組んでいただきたいと思えます。そうすることが一方では自分自身の生きがいの創造にもつながるのです。

お年寄りの豊かな知識と経験が十分に生かされないのは、大きな社会的損失です。コミュニティづくりの中心的な役割は自分たちが担う——そういう自覚をお年寄りの皆さんにぜひもっていただきたいと思えます。

「がん」早期発見・早期治療を 死因順位のトップ



我が国のがんによる死亡者は毎年増加しており、昭和五十八年が全国で十七万六千七百七十四人がこの病気で亡くなっています。がん死亡者の全体に占める割合は二・三・八％。亡くなる人のほぼ四人に一人はがんが原因です。

がんは治る

自覚症状がほとんどないままに体内にはびこっていくがん。そのため、発見されたときには手おくれ、ということが多かったのも事実です。しかし、それはもう昔の話。国立がんセンターの報告によ

れば、昭和五十二年から五十七年の間に同センターを訪れたがん患者の生存率は五・一・七五％、つまりがんにかかっても半数以上の人が助かっているといわれています。また、早めに発見して適切な治療さえ行えば、ほぼ百％治ってしまいうがんもあるようです。

がんの危険信号 8カ条

- 胃・子宮・乳房・肺などは、年1回検診を受けて安心しましょう。
- 次のような症状があったら、直ちに専門医に診てもらいましょう。
1. 胃……………胃の具合がわるく、食欲がなく、好みが変わったりしないか。
 2. 子宮……………おりものや、不正出血はないか。
 3. 乳房……………乳房の中にシコリはないか。
 4. 食道……………のみこむときに、つかえることはないか。
 5. 大腸・直腸…便に、血や粘液がまじったりしないか。
 6. 肺……………咳が続いたり、痰に血がまじったりしないか。
 - 喉頭……………声がかすれたりしないか。
 7. 舌・皮膚……………治りにくい、潰瘍はないか。
 8. 腎臓・膀胱・前立腺…尿の出がわるかったり、血がまじったりしないか。
- 日本対がん協会制定 —

検診を受けよう

レントゲン、内視鏡など検診技術の進歩で、いろいろながんが早期に発見できるようになりました。もうがんは、死を意味する病気ではありません。しかし、検診や治療の方法がいくら進歩しても、みなさんが検診を受けなければ「早期発見・早期治療」に結びつきません。あらゆる機会を利用して検診を受けま

災害に備えよう 九月一日は「防災の日」

世界の地震の約一割が、日本列島とその周辺で起きているという事実を、あなたはご存じですか。九月一日は「防災の日」。言うまでもなく、わが国は世界有数の地震多発国です。大正十二年の関東大震災以来、現在までマグニチュード7以上を観測した地震は百六十回も発生しています。地震に限らず、台風、豪雨などの災害から身を守るためには、わたしたち一人ひとりが防災に対する正しい知識と心構えを持つことが大切です。そのためには、日ごろから家族みんなで、災害がいつ起きても落ち着いて行動できるよう、よく話し合いましょ。

風水害避難所を指定

町では、この程、風水害避難所を指定しました。この避難場所は、水害やがけ崩れなどで家屋や人命に被害が及ぶおそれがある場合、災害を未然に防止するため、公民館をはじめ、児童館、集落館など三十四ヶ所を指定したものです。いざという時のために、事前に安全な避難経路を確認しておきましょう。

クーリング・オフ 冷静に考える期間

クーリング・オフとは、訪問販売などで売買契約の申し込みや契約が結ばれた日を含め、一定期間内であれば無条件で契約の解除等ができる制度で、購入者が販売業者に契約の解除等を行う旨の書面を出すことによって、効力が発生するものです。クーリング・オフ期間は次のとおりです。

- 訪問販売・生命保険など：四日以内
 - マルチ商法……………十四日以内
 - 宅地建物取引……………五日以内
- 契約の日を含めて、このクーリング・オフ制度が適用でき、無条件

かしこい消費者となるために 悪質な訪問販売にご注意

訪問販売のチャプは、セーラムスマンに対してとかく受け身になりがちで、つい不用なものや、高額なものを家族に相談することもなく、その場で売買契約や申し込みをしてしまふことに始まります。この場合の多くが、販売業者は信販会社と提携しており、本人は信販会社に対して支払いをすることになります。後日解約をしたくてもなかなか応じてもらえず、また解約できたとしても相当の違約金をとられるしくみになっています。さらに販売業者に對して解約の意志を伝えたからと安心していても、信販会社からは支払いの通知があいつぎ、やむをえず支払いをすることになり、家庭内へのトラブルにもなり

かみません。このような場合、消費者を保護するために「クーリング・オフ」という制度があります。

健康食品 正しい知識と正しい判断で

最近、健康食品をめぐるトラブルが非常に多くなっています。健康や食生活に不安があるから、健康のためなら何にでも飛びつく……といった安易な考え方から、高い品物を大量に買ったり、効き目のない薬まがいの食品を買ったりしています。しかし、これを食



件で解約できます。解約する場合には、必ず書面で行わなければなりません。その際、内容証明郵便や配達証明郵便を出すことが確実です。◎セーラムスマンから言葉たくみに商品を買すすめられ、十分に考える余地もないまま契約をしてしまい、トラブルを生ずるケースが多いいためには、うまい誘いには乗らないこと、きっぱりと断る勇気を持つことが大切です。

べたからといって病気を直す薬でもなく、また、健康の増進や食卓を豊かに楽しくする食品でもありません。この食品が他人には良かったとしても、自分の体に合うとは限りません。健康食品に過度の期待をかけたり盲信するのは禁物です。一つや二つの食品、成分ばかり探っても弊害こそあって、健康の増進には役立ちません。病気が病気のおそれがあるときには医師に相談しましょう。

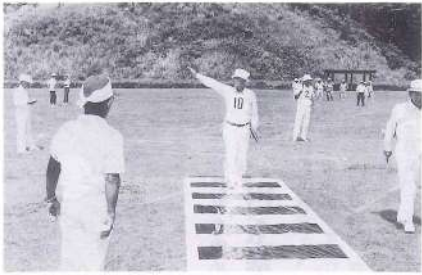
雇用保険法が、1月1日より改正されました

雇用失業情勢の変化に対応して、失業された方が一日も早く再就職できるように、雇用保険制度が改正されました。その主な改正点は、次のとおりです。

- (一) 再就職手当制度について 受給者が給付日数の半分以上を残して就職した場合、三〇日から一二〇日までの範囲内で再就職手当が支給されます。
- (二) 失業給付を受けられる日数が次のように変わりました。

年齢	給付日数	年齢	給付日数
18歳以上20歳未満	90日	55歳以上	90日
20歳以上25歳未満	105日	50歳以上55歳未満	90日
25歳以上30歳未満	120日	45歳以上50歳未満	90日
30歳以上35歳未満	135日	40歳以上45歳未満	90日
35歳以上40歳未満	150日	35歳以上40歳未満	90日
40歳以上45歳未満	165日	30歳以上35歳未満	90日
45歳以上50歳未満	180日	25歳以上30歳未満	90日
50歳以上55歳未満	195日	20歳以上25歳未満	90日
55歳以上	210日	18歳以上20歳未満	90日

- (三) 給付基礎日額について 従来の最低、最高額が、次のように変わりました。最低二、一四〇円が二、五七〇円に最高六、六七〇円が七、三三〇円に
- (四) その他 六十五歳以上の方が失業した場合の一時金や、定年退職した場合の支給期間が二年間延長される制度も変わりました。詳細は、都城職業安定所におたずねください(電話)二二一七四五



本町のチームが 上位を独占

第二回交通安全ゲートボール大会は、去る九月三日、高崎町総合運動公園で盛大に開催されました。大会には、各町から十七チームが参加し、本町チームは熱戦の結果、勝岡Aチーム(優勝)、植木チーム(準優勝)、勝岡Bチーム(四位)と上位を独占しました。交通安全ゲートボールは、普通のゲートボール競技に交通安全規則を守る地帯(安全地帯、横断歩道、危険地帯)を設けて競技するもので、老人の交通安全意識の高揚を図るのを目的に考案されたものです。

男女とも2地区Aが優勝

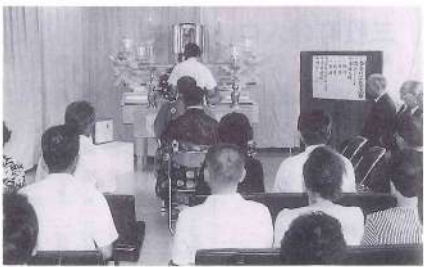
町子ども会球技大会

町子ども会育成連協は、去る八月二十四日球技大会を旭ヶ丘運動公園で開催しました。大会には約四百名の子どもたちが参加し、男子はソフトボール、女子はドッジボールと、それぞれ十三チームを四パートに分けてリンスリーグで行われました。会場には、父兄や会員が大勢かけつけ、子どもたちの懸命なプレーに盛んな声援を送っていました。結果は次のとおりでした。

- 男子 一位 二地区A 二位 四地区
- 女子 一位 二地区A 二位 九地区



しめやかに 合同慰霊祭
町立病院では、去る八月十一日過去一年間に、同病院で不幸にも他界された、故隈元静章殿をはじめとする十九柱の合同慰霊祭を、物療室でしめやかに行いました。慰霊祭には、遺族をはじめ病院関係者、町長、議長など多数が参列し、読経が流れる中で焼香が進み、改めて深い悲しみにつつまれていました。その後、院長と町長が慰霊のごとばを述べ、故人の安らかな冥福を祈りました。



職員チームが優勝

三股中PTA球技大会

去る八月三日、三股中PTA球技大会は、約三百名が参加し盛大に開催されました。大会には、男子十チーム、女子九チームが出場。悪天候のため男女ともバレーボールで試合が進行されました。結果は次のとおりでした。

- 男子の部 優勝 職員チーム 優勝 三地区 二位 六地区 二位 四地区 三位 一地区 三位 八地区
- 女子の部 優勝 三地区 二位 四地区 三位 八地区

話題

シートベルト着用を呼びかけ

8月1日、町と交通安全関係者により、三股小南側、新馬場の交差点で、シートベルトを着用しようと呼びかけ、併せて、着用率の調査を行いました。これは夏の県民総ぐるみ運動(8月1日~10日)と8月のシートベルト着用推進月間にちなんで、着用の習慣と定着化を図るため行われたものです。万が一の交通事故に遭った場合に被害の防止と、軽減に大きな役割を果たすシートベルトで自らの安全を守りたいものです。尚、シートベルトの着用率は60%とまだまだ低いようです。シートベルトを着用し安全運転に努めましょう。



健康教室で正しい食生活を学ぶ

町では、7月24日から4日間、中学一年の女生徒を対象に健康教室を中央公民館で開催しました。最近、中学生にまで、貧血や成人病がみられるため思春期から正しい食生活を身につけ、心身ともに健康の保持増進を図るため、国民健康保険事業の一環として行われたものです。都城保健所の栄養士を講師に思春期の栄養のとり方、食品衛生、貧血の予防などをスライドと講義、調理実習で学びました。



バドミントンの部で三股Aが優勝

県スポーツ少年団大会 県スポーツ少年団創立20周年を記念するスポーツ大会は、8月5日県総合運動公園を中心に6会場、8種目で熱戦が展開されました。本町からは、郡予選を勝ち抜いたソフトボールをはじめ、バドミントン、柔道、剣道が出場し、各地区代表と日ごろの練習の成果を競い合いました。バドミントンの部では、リンスリーグで試合開始。三股Aは順調に勝ち進み、決勝戦では大淀(宮崎市)と対戦し、2対0のストレートで下し見事に初優勝を飾りました。



花いっぱい運動を展開

新生活運動 新生活運動推進協議会では、8月3日町内の各地区公民館などで、花いっぱいコンクールを行いました。これは新生活運動の事業の一環として、環境美化と併せて花いっぱい運動を展開しているものです。コンクールは、各地区公民館や児童館、集落館など11ヶ所で行われました。どの花壇もきれいに手入れされて、丹精こめられた花が美しく咲き綻び、訪れる人々の目を楽しませてくれるでしょう。尚、審査の結果は次のとおり

- 優秀 一席 下新老人クラブ
- 二席 前目老人会ゲートボールクラブ
- 三席 第四地区高齢者クラブ上ノ馬場支部





みんなの善意を集めよう

『愛の一円玉基金』

町民生委員協議会では、恵まれない人たちに愛の手をさしのべようと「愛の一円玉基金」の募金運動を行っています。

各民生委員が、直接又は回覧等を通じてお願いしますので、みなさんのご家庭で眠っている一円玉を、善意のしるしとして「愛の一円玉基金」にお寄せください。

ご協力のほどよろしくお願いいたします。

無料法律相談について

(一)日時 十月七日(火)

午前10時～午後3時

(二)場所 都城市総合社会福祉センター(松元町)

(三)相談内容

サラ金、土地建物、離婚、相続、その他

(四)担当者

弁護士、法務局、裁判所職員

商業統計調査が 商業実態基本調査が 実施されます

全国一斉に十月一日現在で、すべての飲食店及び通商産業業者が指定する卸売・小売業の商店を対象に、調査が実施されます。

知事の任命した調査員が、十月上旬にお伺いしますので、ご協力をお願いします。

なお、それぞれの調査票に記載された内容は、統計以外の目的には使用されませんので、安心してご記入ください。



9月の納税 固定資産税 2期

10月は
県町民税(3期)
保険税(3期)
の納月です。

税務相談について

- 一、期日 十月二十一日
- 二、時間 午前10時～午後四時
- 三、場所 都城商工会議所

全国育樹祭について

「育てよう豊かな森と木の文化」をスローガンに第十回全国育樹祭が次のとおり開かれます。

- 一、期日 十一月十七日
- 二、場所 小林市ひなもり台

自衛官募集

左記のように自衛官(二等陸海、空士)を募集しています。

○応募資格

年齢十八歳以上二十五歳未満の日本国籍を有する者で、学校教育に定める中学校卒業程度の学力を有し、かつ、自衛隊法に定める欠格条項に該当しない者。

○試験科目 宮崎地方連絡部

筆記試験(国語、数学、社会)

身体検査、適性検査、口述試験。

詳しいことは、役場総務課または自衛隊宮崎地方連絡部都城出張所(電話二一三九四四番)まで。

愛のご寄付

三股町社会福祉協議会では、忌明け寄付を次の通りいただきました。故人のご冥福をお祈りいたしましたと共に、社会福祉発展のために有意義に利用させていただきます。誠にありがとうございます。

昭和六十一年八月一日から昭和六十一年八月三十一日まで寄付者 続柄 故人名 地区 金額

- 新藤 正義(父) 正治 耕原 一万円
- 原田 ミキ(夫) 秀行 東原 一万円
- 盛田 夏子(妻) 伍夫 大木 二万円
- 錦屋 秀安(妻) ツツシ 豊池 五万円
- 長友 勝美(母) 権尾 丸山 一万円
- 池畑 喜美(夫) 朗 上米 一万円
- 森木 哲郎(母) スミ 東原 二万円
- 西村 務(妻) 敏子 大木 一万円
- 前田 昭夫(娘) 智美 植木 二万円
- 大田 昭宏(母) アサ子 東原 二万円
- 上右 昌明(息子) 昌博 大木 二万円
- 西村 フヂ(夫) 善治 樺田 二万円
- 奥平 エリ子(義母) シュエ 大野 二万円

三股町の人口

昭和61年9月1日現在

人口19,100人 出生 26人
男 9,047人 死亡 8人
女 10,053人 転入113人
転出 71人

世帯数 6,084戸
前月比+60